

卒業生アンケートのまとめ（平成 23 年度末に実施）

アンケート対象となった平成 20 年度理学部卒業生であり、その多くは平成 17 年度入学であり、学部改組（平成 19 年度）前である。アンケートは、平成 23 年 12 月 20 日に郵送し、1 月末締め切りで返信を依頼した。

平成 20 年度の卒業生は 259 名であり、そのうち 29 名から回収された。回収率は 11.2 であった。回収数が少ないため、学部全体としての分析を中心として行った。

I. 分析

【全般的な質問】

高知大学での勉学や生活で満足できたものは、「友人との出会い」が一番多く 83%であった。次いで、「研究室での卒研やゼミ」(72%)、「先生との出会い」(45%)、「授業」(38%)と続く。卒業研究、および大学で得られた人間関係に関する満足度が高い。満足できなかった項目の中では、「授業」が 34%と比較的多く、近年改善の傾向はあるものの、なお改善の余地があることが分かる。逆にこれ以外の項目はほぼ 10%以下と少なく、深刻な問題は生じていないとみられる。

教育研究施設（学習環境）については、69%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答している。

就職支援活動については、「満足できた」または「ほぼ満足できた」との回答が 52%であったが、「あまり満足できなかった」という回答も 40%あった。

【シラバス】

理学部の授業シラバスについては、93%が「役立った」または「役立つこともあった」と答えている。授業については、全員が、シラバスの授業計画に沿って「実施されていた」または「ほぼ実施されていた」と評価している。あらかじめ提示したシラバスに沿った授業を進めるというスタイルが定着していると評価できる。

【受講科目の感想】

理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）で満足できた授業の数は、40 以上(15→7%; 矢印の前の数字は前年度)、30～40(30→40%)、20～30(30→17%)、10～20(26→33%)、10 以下(0→3%) という分布であった。あまり明瞭ではないが、2 極化の傾向を示す。満足した理由としては「専門分野の実力がついた」が 66%で最も多く、「親切で丁寧な授業であった」が 55%とそれに続いている。他方、満足できなかった授業の数は、40 以上(4→7%)、30～40(4→7%)、20～30(15→21%)、10～20(30→17%)、10 以下(49→48%) で、増加傾向が見られるのは気にかかる点である。このような数値の変動は、より長期的なレンジで評価する必要がある。

【標準履修モデル】

授業科目については、授業内容や難易度において適切に「配置されていた」と「概ね配置されていた」は、基礎教育科目と専門コア科目（××学 C）で 86%、専門コア教育科目と専門専攻教育科目で 79%を占め、昨年同様の結果になっている。また、各教育コースの教育目標は標準履修モデルと「合致していた」または「概ね合致していた」が 89%であった。

【専門科目への要望】

「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に「全くそのとおり」または「概

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学コース	2	2	0	4	2	3	0
情報科学コース	1	1	0	1	0	1	1
物質基礎科学コース	1	2	1	2	1	2	0
物質変換科学コース	2	3	2	4	1	2	0
生体機能物質工学コース	1	6	4	6	2	1	0
生物科学コース	3	6	5	5	2	5	2
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-	-	-
防災科学コース	1	1	1	2	1	1	0
計	11	21	13	24	9	15	3
回答者数に対する割合 (%)	38	72	45	83	31	52	10

G. その他

情報科学コース

- ・他大学と比べて学務課の方々がとても優しく対応してくださったこと。

生物科学コース

- ・高知の自然や風土にふれることが出来たこと。
- ・高知という土地

防災科学コース

- ・共通教育でも興味を持てるような、専門的な授業を受けることができて楽しかった。

3. 高知大学での勉学や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 授業 B. 研究室での卒研やゼミ C. 先生とのトラブル D. 友人とのトラブル
E. 課外活動 F. 親からの自立 G. その他 ()

(回答数)

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学コース	1	0	0	0	1	0	0
情報科学コース	0	0	0	0	1	0	0
物質基礎科学コース	0	0	0	0	0	0	0
物質変換科学コース	2	1	0	0	1	0	0
生体機能物質工学コース	4	0	1	0	0	1	1
生物科学コース	3	1	0	1	2	0	2
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	0	0	0	0	0
計	10	2	1	1	5	1	3
回答者数に対する割合 (%)	34	7	3	3	17	3	10

G. その他

生体機能物質工学コース

- ・学祭を学校が協力して大きなイベントにしたら地域的にも良いと思う。

生物科学コース

- ・色々…
- ・箱物作りに精を出す大学事務および後援会等

4. 共通教育（一般教育）の授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	3	0	0
情報科学コース	0	1	0	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	2	4	2	0
生体機能物質工学コース	4	1	1	0
生物科学コース	3	4	1	2
地球史環境科学コース	-	0	0	0
防災科学コース	0	1	1	0
計	10	16	5	2
回答者数に対する割合 (%)	34	55	17	7

ご意見があればお書きください。

情報科学コース

・私は3年次編入生だったので一般教養・共通教育の履修は必要ありませんでしたが、数科目だけ履修させてもらいました。とても素晴らしい授業もあったので、編入生も履修しても良いということをもう少しお知らせしていただけたら…と思います。(編入生の中には共通教育は履修してはダメだと思っている人も多くいましたので…)

生体機能分子工学コース

- ・必修（教員免許取得の際）の授業なので、まったく面白くない授業を取らねばならなかった。
- ・寝てても単位がもらえる。というのを先生が黙認している。

生物科学コース

・理系コース所属だが、さまざまな分野の学問にふれられてとても満足でした。受講者のモラル（欠席者の代返、テスト時の不正行為）醸成が問題であると思います。

防災科学コース

- ・改修前で共通教育棟での授業が暑かったり、寒かったりで集中できない時があった。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	0	4	0	0
情報科学コース	0	1	1	0
物質基礎科学コース	0	1	1	0
物質変換科学コース	0	4	0	0
生体機能物質工学コース	1	2	2	1
生物科学コース	1	4	2	1
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	1	1	0	0
計	3	17	6	2
回答者数に対する割合 (%)	10	59	21	7

ご意見があればお書きください。

情報科学コース

- ・私が高知大学に在籍していた時，耐震工事中だったので，色々と不便でしたが，今は良くなっていると思うので「B」にしました。
- ・もっと早く建て直してほしかった。

物質基礎科学コース

- ・設備が古い場合があった。

物質変換科学コース

- ・インターネットで履修登録したい。

生体機能分子工学コース

- ・もう少し良い機会を導入してほしかった。

生物科学コース

- ・学会参加など学校や研究室からの援助がないため参加しづらい。
- ・暑いのは我慢できたが寒いのは…。又，クーラーのかかりすぎで冷えた時もあった。
- ・ホワイトボードが見えにくかった。ホワイトボードのマーカーのインクが少ないのばかりで字が薄いなど，見た目だけ，機能性は無視，予算不足を言い訳に無駄な構造を作りすぎ。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	0	2	1	1
情報科学コース	1	0	1	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	0	2	2	0

生体機能物質工学コース	0	1	3	1
生物科学コース	0	3	3	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	1	12	10	2
回答数に対する割合 (%)	4	48	40	8

ご意見があればお書きください。

物質変換科学コース

- ・進学したので活用していない。

生体機能分子工学コース

- ・使用していない。
- ・支援されていない。
- ・理系にとって役に立たないアドバイスばかり。文系的就活と理系的就活（専門職等）を知ってほしい。
- ・自分は院に進学して専門職を希望していたが、大学の就職支援は主に学部卒の文系のためのような感じがしたので、院卒の人のためのものとして欲しい。

生物科学コース

- ・参加していない。
- ・就活はあくまで自発的かつ積極的に行うものだと思いますが、聞こうとせずとも耳に入ってくるくらいの情報提供がなされる環境であっても良いと思いました。

防災科学コース

- ・就活用の写真を無料で撮ってもらえたり、セミナーは良かったと思う。
- ・実際あまり利用しなかったのがなんとも。

7. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

(回答数)

	A. ある	B. ない
数理科学コース	0	4
情報科学コース	1	1
物質基礎科学コース	1	1
物質変換科学コース	0	4
生体機能物質工学コース	2	4
生物科学コース	3	6
地球史環境科学コース	-	-
防災科学コース	0	2
計	7	22
回答者数に対する割合 (%)	24	76

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	0	0	0	0
情報科学コース	0	1	0	0
物質基礎科学コース	0	1	0	0
物質変換科学コース	0	0	0	0
生体機能物質工学コース	2	2	0	0
生物科学コース	1	2	0	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	0	0
計	3	6	0	0
回答数に対する割合 (%)	33	67	0	0

続いて理学部に関する質問です。

【コース分属】

9. コース分属は希望通りでしたか。

- A. はい B. いいえ

(回答数)

	A. ある	B. ない
数理科学コース	4	0
情報科学コース	1	0
物質基礎科学コース	2	0
物質変換科学コース	4	0
生体機能物質工学コース	6	0
生物科学コース	9	0
地球史環境科学コース	-	-
防災科学コース	2	0
計	28	0
回答者数に対する割合 (%)	100	0

10. あなたは転学部・転学科・転コースの申請をしたことがありますか。

- A. はい B. いいえ

(回答数)

	A. ある	B. ない
数理科学コース	0	4
情報科学コース	0	2

物質基礎科学コース	0	2
物質変換科学コース	0	4
生体機能物質工学コース	0	6
生物科学コース	0	9
地球史環境科学コース	-	-
防災科学コース	0	2
計	0	29
回答者数に対する割合 (%)	0	100

11. あると答えた方の方に質問します。申請は受け入れられましたか。

A. はい B. いいえ

この設問には該当なし

【シラバス】

12. 理学部の授業シラバスについてお聞きします。シラバスは授業選択に役立ちましたか。

A. 役立った B. 役立つこともあった
C. あまり役立たなかった D. 役立たなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	2	2	0	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	1	0	0	0
物質変換科学コース	2	2	0	0
生体機能物質工学コース	2	3	0	0
生物科学コース	3	6	0	0
地球史環境科学コース	0	0	0	0
防災科学コース	1	1	0	0
計	11	16	0	0
回答者数に対する割合 (%)	38	55	0	0

13. 授業はシラバスの授業計画に沿って実施されていましたか。

A. 実施されていた B. ほぼ実施されていた
C. あまり実施されていなかった D. 実施されていなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	3	0	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	1	3	0	0

生体機能物質工学コース	1	5	0	0
生物科学コース	2	6	0	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	5	23	0	0
回答数に対する割合 (%)	18	82	0	0

【受講科目の感想】

14. あなたが在学期間中に受講した理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）の印象をお聞きます。満足できた授業の数はおよそいくつでしたか。

A. 40 以上 B. 30－40 C. 20－30 D. 10－20 E. 10 以下

(回答数)

	A. 40 以上	B. 30－40	C. 20－30	D. 10－20	E. 10 以下
数理科学コース	0	1	2	1	0
情報科学コース	0	2	0	0	0
物質基礎科学コース	0	1	0	0	0
物質変換科学コース	0	2	1	2	0
生体機能物質工学コース	0	3	1	2	0
生物科学コース	1	2	1	5	1
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-
防災科学コース	1	1	0	0	0
計	1	12	5	10	1
回答数に対する割合 (%)	7	40	17	33	3

15. 満足した理由を下記より選んでください。（複数回答可）

A. 専門分野の実力がついた B. 親切で丁寧な授業であった C. 教材を工夫していた
D. 教員の熱意が感じられた E. 授業が一方的でなかった F. 授業内容が斬新だった
G. その他（具体的に書いてください）

(回答数)

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学コース	2	1	1	1	0	1	0
情報科学コース	1	2	1	2	0	0	0
物質基礎科学コース	1	0	1	1	2	0	0
物質変換科学コース	3	4	0	2	2	0	0
生体機能物質工学コース	5	2	1	2	1	0	0
生物科学コース	6	6	0	3	3	1	1
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-	-	-
防災科学コース	1	1	0	2	1	0	0
計	19	16	4	13	9	2	1
回答者数に対する割合 (%)	66	55	14	45	31	7	3

G. その他

生物科学コース

- ・内容が面白かった。

16. 理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）のうち，満足できなかった授業の数はおよそいくつでしたか。

A. 40 以上 B. 30－40 C. 20－30 D. 10－20 E. 10 以下

(回答数)

	A. 40 以上	B. 30－40	C. 20－30	D. 10－20	E. 10 以下
数理科学コース	0	0	2	0	1
情報科学コース	0	0	0	1	1
物質基礎科学コース	0	0	1	1	0
物質変換科学コース	0	0	1	2	1
生体機能物質工学コース	2	2	0	1	3
生物科学コース	0	0	2	0	6
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	0	0	2
計	2	2	6	5	14
回答数に対する割合 (%)	7	7	21	17	48

17. 満足しなかった理由を下記より選んでください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| A. 実力がつかなかった | B. 不親切でわかり難い授業だった |
| C. 教材の工夫が見られなかった | D. 教員の熱意が感じられなかった |
| E. 一方的な押し付け授業だった | F. 内容が古すぎた |
| G. 内容は新しいが断片的だった | H. その他（具体的に書いてください） |

(回答数)

	A	B	C	D	E	F	G	H
数理科学コース	0	2	0	0	1	0	0	1
情報科学コース	2	2	0	0	0	0	0	1
物質基礎科学コース	0	2	1	1	0	3	0	0
物質変換科学コース	0	3	1	3	4	0	0	0
生体機能物質工学コース	1	3	2	1	2	0	0	0
生物科学コース	0	7	2	2	2	0	0	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-	-	-	-	-
数理科学コース	0	1	1	1	0	0	1	0
計	3	20	7	8	9	3	1	2
回答者数に対する割合 (%)	10	69	24	28	31	10	3	7

G. その他

数理科学コース

- ・優，良，可，不可の基準が分からなかった。

情報科学コース

・数学の教員免許のために数理科学コースの授業も受けていましたが、情報科学コースと比べてとても難しく、単位取得が大変でした。理学部内でこれだけの難易度の差があるのは…。

【標準履修モデル】

18. 理学部は授業科目を基礎教育科目（現，基礎科目），専門コア教育科目（現，専門科目のコア科目），専門専攻教育科目（現，専門科目）に大別し，カリキュラムを段階的に学べるように工夫しました。基礎教育（〇〇学概論等）と専門コア科目（××学C）は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。

- A. 配置されていた B. 概ね配置されていた
C. 余り配置されていなかった D. 配置されていなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	3	0	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	0	1	1	0
物質変換科学コース	1	3	0	0
生体機能物質工学コース	0	5	0	2
生物科学コース	4	3	1	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	6	19	2	2
回答者数に対する割合 (%)	21	66	7	7

19. 専門コア教育科目と専門専攻教育科目は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。

- A. 配置されていた B. 概ね配置されていた
C. 余り配置されていなかった D. 配置されていなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	3	0	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	0	1	1	0
物質変換科学コース	1	3	0	0
生体機能物質工学コース	0	5	0	1
生物科学コース	0	5	1	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	2	21	2	1
回答者数に対する割合 (%)	7	72	7	3

20. 各教育コースは独自の教育目標を掲げています（理学部ホームページ等を参照してください）。この教育目標は標準履修モデルと合致していましたか。

- A. 合致していた B. 概ね合致していた

C. 余り合致していなかった D. 合致していなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	3	0	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	1	3	0	0
生体機能物質工学コース	0	5	0	1
生物科学コース	0	7	1	1
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	2	24	1	2
回答者数に対する割合 (%)	7	83	3	7

【専門科目への要望】

21. 「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	0	1	3	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	1	0	1	0
物質変換科学コース	1	3	0	0
生体機能物質工学コース	2	2	2	0
生物科学コース	3	4	2	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	1	0	1	0
計	8	12	9	0
回答者数に対する割合 (%)	28	41	31	0

22. 「難しい授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	1	1	1
情報科学コース	0	1	1	0
物質基礎科学コース	0	1	0	1
物質変換科学コース	0	0	2	2
生体機能物質工学コース	0	1	2	2

生物科学コース	0	1	4	4
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	2	0
計	1	5	12	10
回答者数に対する割合 (%)	3	17	41	34

23. 「最前線の研究や手法を学ぶために、実験実習の時間を増やしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	2	1	1	0
情報科学コース	0	0	2	0
物質基礎科学コース	1	1	0	0
物質変換科学コース	1	2	1	0
生体機能物質工学コース	2	3	1	0
生物科学コース	3	2	2	2
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	9	11	7	2
回答者数に対する割合 (%)	31	38	24	7

24. 「サークル活動やアルバイトとぶつかるので、実験実習等の授業時間を軽減してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	0	0	3	1
情報科学コース	0	0	1	1
物質基礎科学コース	0	0	1	1
物質変換科学コース	0	0	0	4
生体機能物質工学コース	0	0	2	4
生物科学コース	0	0	2	7
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	2	0
計	0	0	11	18
回答者数に対する割合 (%)	0	0	38	62

25. 「社会に出て役立つことを授業に増やしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである

C. 余りそう思わない

D. 全く思わない

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	2	0	2	0
情報科学コース	0	2	0	0
物質基礎科学コース	0	0	2	0
物質変換科学コース	3	0	2	0
生体機能物質工学コース	3	2	1	0
生物科学コース	3	3	3	0
地球史環境科学コース	0	0	0	-
防災科学コース	2	2	0	0
計	13	9	10	0
回答者数に対する割合 (%)	45	31	34	0

【成績評価】

26. これまで受講した授業について、成績評価の方法は適切であったと思いますか。

A. 適切であった

B. 概ね適切であった

C. 適切でない授業もあった

D. 適切でない授業がたくさんあった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	1	2	0
情報科学コース	1	1	0	0
物質基礎科学コース	0	1	1	0
物質変換科学コース	1	3	0	0
生体機能物質工学コース	0	3	3	0
生物科学コース	3	6	0	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	1	1	0
計	6	16	7	0
回答者数に対する割合 (%)	21	55	21	0

27. 成績評点は自分の予想と合っていましたか(成績評価が適切に行われたと思いますか)。

A. 適切であった

B. 概ね適切であった

C. 適切でない授業もあった

D. 適切でない授業がたくさんあった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	2	1	0
情報科学コース	1	1	0	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	0	4	0	0
生体機能物質工学コース	2	3	1	0
生物科学コース	6	3	0	0

地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	1	0	1	0
計	11	15	3	0
回答者数に対する割合 (%)	38	52	10	0

【卒業研究】

28. 現在、理学部所属の学生は種専攻・副専攻を自由に選ぶことができ、副専攻で主専攻と異なる分野を選択した学生に対して、卒業研究を選択科目、あるいは選択不可としているコースがあります。これについてあなたの意見をお聞きます。

- A. すべての学生に対し必修がよい B. すべての学生に対し選択がよい
C. 学生の進路に合わせ必修と選択の両方を設けるのがよい

(回答数)

	A	B	C
数理科学コース	3	0	1
情報科学コース	1	1	0
物質基礎科学コース	1	0	1
物質変換科学コース	4	0	0
生体機能物質工学コース	6	0	0
生物科学コース	4	2	3
地球史環境科学コース	0	-	-
防災科学コース	2	0	0
計	21	3	5
回答者数に対する割合 (%)	72	10	17

【授業改革】

29. 理学部の各学科が開設している授業科目数と内容は適切だと思いますか。

- A. 適切である B. 概ね適切である
C. 足りない D. 多すぎる

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	1	2	0	1
情報科学コース	1	1	0	0
物質基礎科学コース	0	2	0	0
物質変換科学コース	1	2	1	0
生体機能物質工学コース	0	4	3	0
生物科学コース	5	3	1	0
地球史環境科学コース	0	0	0	-
防災科学コース	0	2	0	0
計	8	16	5	1
回答者数に対する割合 (%)	28	55	17	3

30. C あるいは D を選択した人にお聞きします。どんな授業を増やせば(減らせば)よいと思いますか。具体的に書いてください。

数理科学コース

- ・ 基本的な内容を復習できる講義が少なく、一方的な講義が多いので、バランスが取れば良いと思う。

物質変換科学コース

- ・ 量子科学・物理化学・高分子化学が足りない。

生体機能分子工学コース

- ・ 1, 2 年で専門以外の取り終えるので、専門授業が増えれば、4 年生への下準備に役立つ (3 年生用の) 授業を増やしてほしい。
- ・ より専門的なことを幅広く。

生物科学コース

- ・ 自然が多い位置にある大学なのだから、もっとそれを活かした授業を増やせばいいのではないかと (年通して木や草花の変化やその仕組みなどをしらべたり)。

【アドバイザー教員制度】

31. アドバイザー教員の指導・支援は適切でしたか。

- A. 適切であった B. 概ね適切であった
C. 余り適切でなかった D. 適切でなかった

(回答数)

	A	B	C	D
数理科学コース	3	1	0	0
情報科学コース	2	0	0	0
物質基礎科学コース	1	1	0	0
物質変換科学コース	0	3	0	1
生体機能物質工学コース	1	4	0	1
生物科学コース	4	4	1	0
地球史環境科学コース	-	-	-	-
防災科学コース	0	0	1	1
計	11	13	2	3
回答者数に対する割合 (%)	38	45	7	10

32. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。

数理科学コース

- ・ アドバイザー教員はあたりはずれがあると思うので統一したほうがよいと思う。
- ・ 卒業研究はするべきだと思う。私は数理コースで数学と情報の教員免許を取得し、卒業研究も行った。4 年前期まで授業があり、結果的に取得単位 200 位までいった。しかし、結果として卒業研究をしてよかったと思う。普段の授業とは少し違う、少人数のゼミや先生との距離感など有意義な時間を過ごすことができた。また、形として残るものを作成することに意義があると思い、大学 4 年間の集大成にするべきもの

だと思う。

情報科学コース

・私が3年次編入したとき、高知大学での生活にすんなりと馴染めるように多くの先生方や職員の方々にとてもよくしていただき、とても感謝しております。編入後の認定試験では、とても寛大な認定をしていただき、編入前に「どうなるんだろう。2年で卒業できるかなあ。」と不安に思っていたのが嘘のように、とても充実した楽しい2年間で過ごすことができました。ありがとうございました。

物質基礎科学コース

- ・在学中にコースの改変があり、必修と教員免許取得のための講義が重なってしまい受講を諦めた。こういってことが起こらないようにして頂きたい。
- ・卒業研究の選択科目化で学生数は増えるかもしれないが質としてはどうなのかと疑問を感じる。就活との両立のための支援を充実させていただきたい。
- ・高知大学は自由に勉強できる環境がよい。自分自身が本気になればその頑張りを支えてくれる教員がいて、夢をサポートしてくれる学生サービスセンターがありました。また、進路もしっかりとサポートしていただきました。
- ・本気で勉強しようとする学生を全力でサポートしてくれる最高の大学でした。
- ・今は高校の教員となり、自分自身の母校である高知大学を進路として考えてくれる生徒を嬉しく思います。どうか学生の声に耳を傾け、学生のための大学であってください。
- ・高校生は、自分自身の夢を叶えるために大学に合格するための勉強をしています。大学に入ったときに、高知大学に入って本当によかったと思える大学を作ってください。

物質変換科学コース

・教授は研究者である一方、教育者でもあります。高校や中学の先生は生徒に分かりやすく教える方法、興味を持たせる方法日々考え、工夫し、改善をして授業している人が多いと思いますが、大学の先生にはそういう人が少ないように思います。自己満足でなく、生徒の視点に立って考えた授業をできるよう、工夫してほしいと思います。

生体機能分子工学コース

- ・卒業論文必修化に戻してほしい。せっかく理系の学部に入學したのに、なにも研究させないという方針はおかし過ぎる。1年間しっかりと卒業研究を行うことで、モノを考える力を養っていき、人として成長していくのと思う。また、4回生がしっかりと研究に取り組むために、もっとしっかりした就職支援を行ってほしい。
- ・卒業研究をやっていない大学生は、採用したくないのが普通。大学の都合で卒研をやらない生徒を生み出すのは、教育的にも、社会的にも無責任だと思う。
- ・卒研をやらない学生が社会に出ることで高知大の品位もレベルもどんどん下がる一方だ。
- ・こと理学部において卒業研究をしない理由が分からない。

生物科学コース

- ・先生と学生の距離が近く、研究室の敷居が高くない所はとても良い所と感じた。ただ将来のことを考えると、学んだことと就職先に大きく差がある人が多いと感じる。社会の現状に合わせて、教員も研究内容を変更しながら対応していく必要があると感じます。
- ・学生サービスセンターの対応が人によって異なり、困ったことがあった（1回目に言われたことと2回目に言われたことが違った）。
- ・学生話をきちんと聞いてから答えてくれる職員と、一方的に「こうなので」と言う職員がいるのは仕方ないことなのではないでしょうか。

・教育と直接関係ないかもしれませんが 1 点だけ。喫煙場所が出入り口付近にあるのは非常に不快でした（におい、煙が非常に苦手なので）。現在はどのように配置しているのか存じておりませんが、配慮されていれば良いと思います。

・理系文系にとらわれず、理学部でも倫理や心理の授業を受ける、文系でも地学、物理、生物の授業を受ける（又は優しい授業を必須）ようにすることで、理学（文学）だけでは見えなかった側面から物事を見られる人間になれるのではないかと思う。また、学生が精神状態に色々な立場の人が気を配って保健管理センターを勧めたり、相談に乗ったりして中退してしまう人を減らしてほしい（環境の変化や一人暮らしで鬱等になっている学生が多いので）（自分もその一人だったので）。

- ・研究費が少ない。

- ・教員数が少ない。

- ・スペースが少ない。

- ・選択可能な授業数が少ない。

・学部自体を研究機関ではなく、教育に専念させる機関とするならば全く問題はないが、その場合は高度な研究教育を行う機関としての意義は失う。

・理学部を構成している各研究室が十分に研究を行える環境がなければ、高度な教育を行うことはできず、今後入学する学生の数と質は低下すると考えられる。

修了生アンケートのデータ (平成 20 年度修了生;平成 23 年度末実施)

以下、平成 23 年度末に理学研究科修了生に対して行った、大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。

アンケート対象となった平成 20 年度修了生は大学院改組（平成 20 年）前最後の学年である。アンケートは平成 23 年 12 月 20 日に郵送し、1 月末締め切りで返信を依頼した。平成 20 年度の修了生は 77 名であり、その内訳は、数理科学 8、情報科学 12、物質基礎科学 15、物質変換科学 13、生体機能物質工学 7、生物科学 11、地球史環境科学 6、防災科学 4、植物分類・地理学 0、海底資源科学 1 であった。そのうち、9 名から回収され、回収率は 11.7% であった。昨年度よりは増えたものの、回収数が少ないため、結果のみを示す。括弧内に回答数と、全回答数に対する割合（%）を示す。

I. 集計結果

- あなたの所属する講座を下記より選んでください。
A. 数理科学講座（0 名：0%） B. 情報科学講座（1 名：11%） C. 物質基礎科学講座（2 名：22%） D. 物質変換科学講座（2 名：22%） E. 生体機能物質工学講座（1 名：11%） F. 生物科学講座（3 名：33%） G. 地球史環境科学講座（0 名：0%） H. 防災科学講座（0 名：0%） I. 植物分類・地理学講座（0 名：0%） J. 海底資源科学講座（0 名：0%）
- 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）
A. 修士論文（2 名：7%） B. 授業（9 名：30%） C. 研究室での研究やゼミ（5 名：17%）
D. 先生との出会い（8 名：26%） E. 友人との出会い（3 名：10%） F. 課外活動（3 名：10%）
G. その他（0 名：0%）

・学会発表

- 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）
A. 修士論文（1 名：25%） B. 授業（0 名：0%） C. 研究室での研究やゼミ（0 名：0%）
D. 先生とのトラブル（0 名：0%） E. 友人とのトラブル（2 名：50%） F. 課外活動（1 名：25%）
G. その他（0%）

情報科学

・新しいことを触ること

- 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。
A. 満足できた（2 名：22%） B. ほぼ満足できた（6 名：67%）
C. あまり満足できなかった（1 名：11%） D. 満足できなかった（0%）

物質基礎科学講座

- メディアの森で一部の学生がうるさく集中できないことがあった。逆に言えば、グループで話し合いのできる

防音室があればよかったのではと思う。

物質変換科学講座

- ・ 図書館の専門書が古い。

生物科学講座

- ・ 理学部棟の耐震工事と時期が重なったため、研究と引越しの両立がしんどかった時期がありました。しかし、今となってはそのタイミングに居合わせたことも良い思い出となっています。
- ・ 備品が足りなかった。研究費をもっと出してほしかった。

5. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた (0名: 0%) B. ほぼ満足できた (3名: 38%)
C. あまり満足できなかった (5名: 62%) D. 満足できなかった (0名: 0%)

物質基礎科学

- ・ 東京(関東)方面への就職を希望する人への希望がもう少しあってもよいと思う。

6. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

- A. ある (2名: 22%) B. ない (7名: 78%)

7. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた (1名: 100%)
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

続いて理学研究科に関する質問です。

8. あなたが在学期間中に受講した理学研究開設授業(講義、実験、演習、セミナー)の印象をお聞きます。全体として授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた (3名: 38%) B. ほぼ満足できた (5名: 62%)
C. あまり満足できなかった (0名: 0%) D. 満足できなかった (0名: 0%)

9. 満足できた理由を下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 専門分野の実力がついた (5名: 29%) B. 親切で丁寧な授業であった (6名: 35%)
C. 教材を工夫していた (0名: 0%) D. 教員の熱意が感じられた (2名: 12%) E. 授業が一方的でなかった (2名: 12%) F. 授業内容が斬新だった (2名: 12%) G. その他(具体的に書いてください) (0名: 0%)

10. 満足できなかった理由を下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 実力がつかなかった (1名: 25%) B. 不親切でわかり難い授業だった (1名: 25%)
C. 教材の工夫が見られなかった (2名: 50%) D. 教員の熱意が感じられなかった (0名: 0%) E. 一方的な押し付け授業だった (0名: 0%) F. 内容が古すぎた (0名: 0%)
G. 内容は新しいが断片的だった (0名: 0%) H. その他(具体的に書いてください) (0名: 0%)

11. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。

物質基礎科学講座

- ・ 地方の大学は何か特色がないと生き残れないと思います。選択集中で、この分野では他の大学に負けない！と学生も教員も考えられるものを作ってもらいたい。

生物科学講座

- ・ なかなか厳しい時代でしたが、研究費が少なくて、困ったこともあったので、そういった面でもう少し基礎研究にも研究費を出していただければ、後輩たちが助かるのかなと思います。